

(別紙8)

【認知症対応型共同生活介護】

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年3月23日

【評価実施概要】

事業所番号	0170401657		
法人名	有限会社 DARIYA		
事業所名	愛の家グループホーム 札幌星置		
所在地	北海道札幌市手稲区星置3条9丁目8番11号 (電話) 011-688-3390		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成22年3月23日	評価確定日	平成22年4月8日

【情報提供票より】(平成22年3月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)17年12月3日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	14人	常勤	14人, 非常勤 人, 常勤換算 10人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	2階建ての	~ 2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	53,000円	その他の経費(月額)	21,000~28,000円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		800円	

(4) 利用者の概要(3月10日現在)

利用者人数	18名	男性	2名	女性	16名
要介護1	5名	要介護2	5名		
要介護3	6名	要介護4	1名		
要介護5	1名	要支援2			
年齢	平均 86歳	最低	80歳	最高	97歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	手稲家庭医療クリニック
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

法人全体で「ご家族アンケート」を実施し、意見や苦情等を言い表せる機会を設け、顧客満足度調査の結果で課題を明確にし、改善活動に活かしている2ユニットのグループホームです。一人ひとりのその日の希望にそって、近隣公園への散歩や弁当持参でのドライブ、ラーメンや小樽での寿司等の外食、雪印資料館や旭山動物園見学等戸外に多く出かけられる様に管理者、職員が一丸となって支援しています。また、地域の「絵手紙の会」や「子育てサロン」で地元の人々や子供達との交流、養護学校や中学校のプラスバンド等の発表会に出かける等地域の人達に認知症について理解される取り組みが行われています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、防災訓練の複数回の実施について課題が見出されていましたが、災害等に備えた設備の定期的な点検や通報訓練、避難訓練が実施されています。また、平成22年度には、スプリンクラーの設置が予定されています。
	今回の自己評価に対する取組状況(関連項目:外部4) 全ての職員が参加して自己評価が行われ、新たな気付きや振り返りの機会として利用されて課題を明確化し、具体的な改善の取組みに評価が活かされています。また、外部評価の結果は、ユニット会議を通じて話し合わせ、そこでの課題を運営に反映しています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、2ヶ月ごとに実施され主な議題は地域交流「星置地域食堂」について 雪祭り、ホワイトイルミネーション見学について 包括支援センターから予防センターの説明 旭山動物園見学の実施結果報告について 「うどん倶楽部」の活動報告 など
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族や来訪者等が管理者、職員、外部者へ意見や苦情等を言い表せるように玄関ホールに「ご意見箱」の設置や苦情申し出先の啓発ポスターが掲示されています。また、法人全体で「ご家族アンケート」を実施し、意見や苦情等を言い表せる機会を設け、顧客満足度調査の結果で課題を明確にし、運営に反映される体制が確保されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会加入で清掃活動や資源回収等の行事参加や「子育てサロン」で地元の人々や子供達との交流、養護学校や中学校のプラスバンド等の発表会に出かける等地域との関係作りに取り組んでいます。また、地域の人達が参加する「うどん倶楽部」での活動や近隣住民が野菜等持ってきて戴くなど地域との交流・連携が深められています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして、事業所独自の理念及びユニット毎も目標を掲げている。また、一人ひとりの職員の目標を掲げて家族、来訪者に取り組みを分かりやすく掲示していることが特筆すべき点である。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念達成の為に、ユニット毎の目標を明確にし、職員一人ひとりの目標を来訪者にも分かりやすいように掲示するなどケアサービスの質の向上に常に取り組んでいる。また、管理者と職員は、理念を毎朝唱和し、その実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会加入で清掃活動や資源回収等の行事参加や「子育てサロン」で地元の人々や子供達との交流、養護学校や中学校のプラスバンド等の発表会に出かける等地域との関係作りに取り組んでいる。また、地域の人々が参加する「うどん倶楽部」での活動等地域との交流・連携が深められている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全ての職員が参加して自己評価が行われ、新たな気付きや振り返りの機会として利用されて課題を明確化し、具体的な改善の取り組みに評価が活かされている。また、外部評価の結果は、ユニット会議を通じて話し合われ、そこでの課題を運営に反映している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、2ヶ月ごとに定期的実施され家族、町内会役員、町内会婦人部、民生委員、包括支援センター職員、管理者及び職員で構成され、地域交流等具体的に話し合われている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>地区管理者会議や包括支援センターとの情報交換等を通じて行き来する機会を作り、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>「愛の家星置通信」を毎月発行し、初詣や外食等の行事参加の様子や日常生活の様子を家族に報告している。また、家族等に定期的及び個々にあわせた報告を「たより」でしている。金銭管理は毎月報告し、健康状態変化については都度報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族や来訪者等が管理者、職員、外部者へ意見や苦情等を言い表せるように玄関ホールに「ご意見箱」の設置や苦情申し出先の啓発ポスターが掲示されている。また、「ご家族アンケート」を実施し、顧客満足度調査の結果を運営に反映される体制が確保されている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職率は低く、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように取り組んでいる。また、定期的に職員アンケートを実施し、ニーズの把握や要望等働きやすい環境整備が行われている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>入社時研修やステップアップ研修、身体拘束廃止、接遇マナー等内部研修で職員の段階に応じた研修が充実している。また、認知症ケア学会や高齢者研究会などの外部研修参加も積極的に行われている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の研修会参加や地域管理者会議、職員交流会等を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、入居前には本人、家族等で職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>本人を介護される一方の立場におかず、調理や盛り付け、後片付けや食器洗い等一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式を利用して、一人ひとりの思いや意向の把握に取り組んでいる。また、入浴のタイミングや食の嗜好の把握、外出や趣味への支援など本人の希望や意向を尊重した取り組みが行われている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画は作成され、利用者、家族の希望や医師からの助言、職員からの意見を取り入れ具体的になっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、個別の期間毎の評価を実施し、状態変化に応じて現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、散歩や買物、養護学校や中学校の演奏会参加、雪印資料館や旭山動物園見学等柔軟に支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。また、往診や必要な場合には通院など支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人・家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、職員間で方針が共有されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員の身体拘束廃止やマナー研修等の内部研修が実施されている。また、一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した声かけや記録の扱いをしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか希望にそって、散歩や買物、ラーメンや寿司等の外食、弁当持参でドライブなど支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、食材の買出しや料理、盛り付けや配膳の準備、食器洗い等職員と利用者が一緒になって行っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2～3回を目安に入浴を楽しめるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	センター方式を活用して、一人ひとりの生活歴や力を活かしながら散歩や買物、食事の準備や後片付け、養護学校や中学校の演奏会参加、町内会行事参加、畑作業等楽しみごとや気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、近隣公園への散歩や弁当持参でのドライブ、ラーメンや小樽での寿司等の外食、雪印資料館や旭山動物園見学等戸外に多く出かけられる様に管理者、職員が一丸となって支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、日中鍵をかけることなく自由に出入りできるようになっている。また、身体拘束廃止やマナー研修等の内部研修が実施されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災備蓄食料の保存や設備の定期点検等の災害対策が行われている。また、防火管理者が配置され、夜間を想定した火災避難訓練や自衛消防訓練が定期的実施されている。		今後は、さらに昼夜を問わず、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけていくことに期待します。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスや摂取カロリーについて管理栄養士によるメニューが作成され、献立指示書にカロリー表示されている。また、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者にとって気になる臭いや音の大きさや光の強さは感じられない。また、共用の空間や廊下の壁にはひな祭りや雪祭り等のホーム行事参加の写真が飾られ、季節感や家庭的雰囲気が出せるように工夫している。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、本人や家族と相談しながら、家族の写真や使い慣れた家具等持ち込まれ、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。